



森のなかま

2016年4月号

NO. 96 (継続241号)

事務所が移転しました

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

森林文化講演会 『森に生かされる暮らし』

講師 澁澤 寿一 氏

2月7日(日) 参加者88名

< 森林文化部会 真貝 勝 11期 >

(写真撮影:高橋修⑨)

例年恒例となっている森林文化講演会が2月7日(日)、澁澤寿一氏を招き桜美林大学 PFC(プラネット淵野辺キャンパス)P201 教室にて行われた。参加者は88名で、かながわ森林インストラクターの会員のほか、37名の一般参加もあった。

環境活動の目標として「持続可能な社会」という歌い文句に近い標語があるが、それを作り出すためには、ただ単に“森林を守る”とか“自然を守る”とか言うことではなく、関係性の再構築が必要である。森づくりを林業だけの問題としないうで、地域の人間の関係性づくりとすることが持続可能な社会には大切であることが主張された。



澁澤 寿一氏

講演では、時代と地域を対比することで説明が進行した。

森に活かされる暮らし



現代の社会は、お金を介して生活が営まれている。経済と効率が優先され“お金”の世界の広がりが増えた。物は増え便利になった。生活は豊かになったのに、50代以下の若い世代の「不安」は増大してきている。現代は「頑張れば何とかなる」という時代では無くなった。頑張っても先が見えない時代、「安心」できるモデルがない時代となり、50代以下の若い世代の「不安」は増大してきている。

500年の森を守るには10世代とかの継続が必要だが、今の世の中ではそれができないシステムになっている。現代の社会は村の暮らしの“わづらわしさ”や“あたたかさ”を捨てて、つながりのない世界を作ってきてしまった。関係性の喪失した、個と個の無関係社会となってしまっている。

講演の中で、人と人、人と自然、世代間、地方と都市を繋ぐ関係性の再構築に関して繰り返し述べられていたのが印象的だった。その具体例として、自らが関わっている岡山県真庭市の実例が挙げられた。

会場風景



最後に、縄文時代から3万年続いた新潟のある小さな村の話がでた。そこで、持続可能な人間社会を維持するのに犠牲も必要だったという紹介があった。

今回の講演で“関係性の再構築”という持続可能な社会への糸口が示されたが、この問題の難しさも同時に示されて講演は閉会となった。

講師 澁澤 寿一氏 プロフィール：農学博士、
NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会理事長、NPO 法人 共存の森ネットワーク理事長
他 環境教育、社会づくりの役職多数 (故 澁澤 栄一氏の曾孫)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。



“やどりきの森へ行こう 第3回” ミツマタ&モモンガの棲む森散策 が開催されました。

場所: やどりき水源林、 日: 3月20日(日)、天候: 曇り、 募集参加者: 52名

次回の“やどりきの森へ行こう”は5月21日です。(申し込み方法等は巻末8頁をご覧ください)

霧の中でのオリエンテーション



班毎の説明



雨上りの水溜りを避けて出発



フサザクラに何かを見つけたようです。
ウスタビガの繭でした！



もう少しで到着です。
回りにはミツマタが見えてきました。(写真右端)



サアー登りスタート



目的地(成長の森)登り口の案内板前の説明



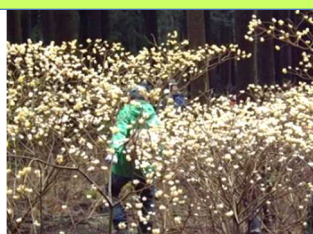
川を渡り



ミツマタの群落へ



ミツマタ群落の中をかき分けて



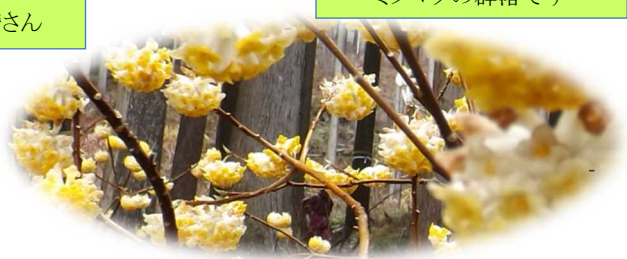
目的地到着(成長の森 20、21 年度)



写真には入りきれない
ミツマタの群落です



そしてモモンガの樹洞 (昼間で登場しませんでした) 洞を見上げる皆さん



(取材 広報 松本)

森林文化部会 インストラクターのための伝統文化見学研修会 森と水より『冬の酒蔵見学』
海老名市 泉橋酒造 平成28年2月18日(木)、2月25日(木)

< 森林文化部会 赤崎さほり 12期 >

2月18日(木)、25日(木)と2回開催された、酒蔵見学の様子をレポート致します。この研修会は、会員の方からの関心が高く、平日開催にもかかわらず早くから参加を申し出てくださった方もいらっしゃいました。私にとっては初めての企画でしたが、沢山の方に助けをいただきながらお天気も味方して結果は大変高評価をいただきましたことを感謝いたします。

さて、研修会は午前中に七沢森林公園の散策を行い、植物や野鳥の観察をしながら冬の雑木林を楽しみました。コゲラやヤマガラが間近に観察でき、おもしろ季節は春に向かいつつある時期でしたので、冬芽だけではなく、早春の花、ウメやアセビ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ等も楽しみました。その後公園内の「展望の丘」で昼食をいただいたのち、泉橋酒造に移動しました。

泉橋酒造では、まず日本酒の種類(純米酒、山廃、生酛等々)を、仕込みの違いから分かりやすい説明で丁寧に講習があり、一同納得の様子。そののち泉橋酒造の神奈川県産にこだわった酒造りを蔵の裏にある田圃から見学しました。蔵では、手作業で今まさに日本酒が作られていて、道具一つ一つも大変興味深いものばかりです。(木を利用した、昔から使われていたものが多い)参加者の方も積極的に質問をしていました。そして、最後に泉橋酒造の代表銘柄を神奈川の野菜を使った美味しいおつまみとともに試飲いたしました。見て、学び、味わって、大満足の酒蔵見学でした。

参加者：井出①、白畑⑦、武者⑦、阿部⑧、黒澤⑧、三浦⑧、内野⑨、村井⑨、
杉崎⑩、小笠原⑩、中元⑩、石川⑫、水上⑬、内田⑬、水野⑭、依田⑭、赤崎⑫

酒造所全景



酒蔵



代表銘柄説明



泉橋酒造では「酒造りは米作りから」の信念のもと、全国でも珍しい「栽培醸造蔵」として海老名市をはじめ近隣地区で酒米栽培から精米・醸造まで一貫して行っています。

太陽と大地の恵みをいっぱいを受けて育んだ信頼できる米を丁寧に仕込む、それが私達の酒造りです。そして、そのすべてが純米酒です。いづみ橋を囲みながら仲間同士で話が弾み、杯を重ねていた・・・そんな心地よく酔える酒を目指しているそうです。

森のめぐみ シリーズ

杵組は桜の小枝です

番外編 南足柄市市民講座での講演にて
「森林の恵みとともに～木々の香りとその働き～」
2月25日(木) 南足柄市文化会館小ホールにて

当会の会報に連載(2か月毎)執筆頂いています、香りの図書館館長(東大名誉教授)の 谷田貝光克 様が南足柄市の市民講座で講演をされました。その様子の取材です。

< 取材 古館 信生 13期 >

2月25日の午後、「香りの図書館」館長の谷田貝先生が「森林の恵みとともに～木々の香りとその働き～」というタイトルで講演をされました。

この日は、朝には雪がぱらつく悪天候で講演会への参加者の数が危ぶまれましたが、午後2時の開演には南足柄市文化会館小ホール(収容人数290人)が満席となる大盛況で「香りと健康」に対する関心の高さが伺えました。

最初に「私の祖先は谷や田んぼの貝＝タニシです」とのジョークで聴衆を話の中に引き込み、セルロース、ヘミセルロース、リグニンから骨格が構成されている木には、微量の抽出できる成分が存在し様々な役割を持っている(図)と徐々に話が核心にせまって行きました。

スギ、ヒノキ、ヒバなどの木の精油は鎮静作用があり、葉の精油は覚醒作用がある話やこれらの木の匂いは二酸化硫黄、アルデヒド、二酸化窒素などを吸着、除去する作用がある話を、実験データを基に述べておられて説得力がありました。

最後に、草木には文化をはぐくんできた香りがあると締めくくられ聴衆に感銘を与えました。

(図) スライドより
抽出成分の働き ⇒ 自己防衛の武器
微生物に対して
・抗菌・抗カビ作用
虫など動物に対して
・殺虫・忌避・誘引作用
・有毒物質⇒ 薬理作用
植物に対して
・発芽・成長阻害、促進
いや地、アレロパシー
抗酸化作用
快適性増進作用
植物の香りの健康への影響

谷田貝先生の香りの理論的な話とアロマセラピーの専門家である池田明子先生の香り(アロマ)の実生活への活用の話が対となって聴衆を満足させるに十分な価値ある講演会でした

講演中の谷田貝様



池田様 と 谷田貝様

活動短信

今回の掲載は平成28年1/8～3/1です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



芹乃栄 1/5～1/9 頃
せりすなわちさかう

草木萌動 2/28～3/4 頃
そうもくほうどうす

芹が盛んに生育する
七草粥で一年の健康を願う
第六十七候 小寒 初候

草木が芽吹き始める
芽生え始める小さな息吹
第六候 雨水 末候

◆ 横浜市立新田小学校

～学校の竹をつかってあそびを作ろう～

日 本番平成28年 1月 8日(金)晴れ

下見平成27年12月22日(火)晴れ

場 横浜市港北区新吉田町 新田小学校

参 小学2年生98名、教師4名

イ L 齋藤⑥、渡辺③、武者⑦、小野⑦、渡部⑦、
野牛⑧、内野⑨、加藤⑫、門澤⑫、大原⑬、
藺田⑬、真部⑬、溝田⑬

松の内明け児童が孟宗竹と格闘する支援活動になりました。内容は、「竹を切る、割る、穴を開ける、枝をはらう」ことを中心に、実践させてほしいとの学校要望に沿う展開をいたしました。校庭での挨拶、注意事項、体操を済ませ、東側斜面地へ向かいました(9:50)。12班(8名程度/1班)にて、ローテーションに従い伐採し(基本は孟宗竹1本)校庭での玉きり作業となりました。児童たちはのこぎり操作に苦労しつつもわいわい楽しそうでした。

予定の時刻(11:35)で終了し児童代表によるお礼の言葉を聞きその後、反省会に移り安全であったことを確認しお開きとなりました。

(記 加藤 久雄 ⑫)



人も自然も
いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の
ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 神奈川県版 木育プログラム

日 1月14日(木)9:00～12:00、晴れ

場 伊勢原市総合運動公園(芝生広場)

参 伊勢原市 市長高山様、

農業振興課、公園緑地課の皆様

農林中央金庫西澤様他、

神奈川県森林組合連合会の皆様

成瀬幼稚園園児86名、スタッフ、職場体験中学生2名

イ L 森本⑤、米本②、高橋③、足立④、有坂⑧、

後藤⑩、福島⑪、加藤⑫、江頭⑬、星野⑬

冬晴れの中、式典が始まりました。始めに農林中央金庫西澤様の挨拶、伊勢原市の11の公園に13基のベンチ贈呈。続いて伊勢原市長より農林中央金庫様に感謝状。市長よりのお話は園児にもわかりやすく森林の役割、大切さが伝わってきました。寄贈されたベンチと一緒に記念撮影で式典終了。

「みんなのベンチ贈呈式」の後は、私達インストラクターの出番です。園児は3組に別れてそれぞれのコーナーに一目散。「草笛」は園児にとって鳴らすのがちょっと難しかったかな。「バードコール」は鳴らし方の説明を聞いて自分で鳴らしてみ確認。ミニ水車コーナーは子供の目線に合わせた高さにしたので、水を流すとその動きを食い入るように見入っていました。「ロケットラワン」はこれが一番人気だったようです。風も穏やかな広場で夢中になってロケットの飛ばしっこでした。

伊勢原市のゆるキャラ「クルリン」も加わり、大山をバックにみんなで記念撮影をして無事終了しました。

(記 江頭 淑子 ⑬)

◆ 県民参加の森林づくり 除伐(常緑樹伐採)

日 1月16日(土)9:00～13:00 晴れ

場 大磯町生沢 おおいそ学園所有林

参 67名

財 内海課長、鳥海様 看 青木様

用具担当 神奈川県森林組合連合会

イ L 湯浅⑪、友谷①、柏倉④、佐藤⑤、

大道⑥、加藤⑥、鈴木⑦、渡部⑦、波多野⑨、

小笠原⑩、酒井⑩、波多野⑪、

藺田⑬、小川⑬、武井⑬、

(研) 藤代⑬、小池⑬

2016年初め、2015年度では最後となる県民参加の森

づくりは、おおいそ学園の所有林。現場の雑木林はアオキなどがうっそうと繁茂している。常緑樹の小径木を伐採して見通しの良い森にしたいというのが学園からの要望だった。

参加者は5班に分かれ、道側から伐採に取り組んだ。

インストラクターの指導の下、剪定バサミでアオキの枝を切り取る者、小径木を間伐コノで間引く者。林床にはたちまち、切り取った常緑樹の葉や枝が積み重なり、林床の土や草が表れて、人海戦術の威力を発揮した。

おおいそ学園の作業は昨年について2回目。実は今年で雑木林の整備を終える予定で、12時ぎりぎりまで作業が続いたが、外縁部の笹の伐採が難航し、残念ながら一部積み残しとなった。

朝方は寒かったが、暗かった雑木林に昼前には太陽が差し込み、日向ぼつこの暖かさになった。参加者からは「達成感があった」、「また参加したい」などの声が出て、おおむね好評だった。

(記 湯浅 鉄男 ⑪)

◆ 三菱重工業㈱新入社員間伐作業

日 2月4日(木)10:30~12:30、晴れ

場 長竹

参 21名(新入社員 18名 + 引率者 3名)

県 増田様、星様

イ L阿部⑧、有坂⑧、小沢⑨

定刻どおりに(10時30分)長竹の山林入り口にて三菱の山崎様の進行によりオリエンテーリング開始、県の増田様に水源林の重要性等の説明をして頂き、インストラクターの紹介、準備体操の後3班(各班6名)に分け間伐用の道具を身に付け、現地まで約15分歩く、本日参加された方は昨年の4月に入社された皆さんで元気ハツラツ和気あいあいと作業が進められた。

指定されたエリアで伐倒木の選木、間伐の意義、目的、間伐方法等を説明させて頂き安全第一を目標に、ロープ作業、鋸の全員体験等、掛かり木に対してもロープを使用し全員の力で引き倒された。残り時間で各自のコースターを作り本日のお土産とした。

立春の温かさを感じる快晴の中、全員無事を確認してバスをお送りした。

(記 小沢 章男 ⑨)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 神奈川県森林協会 林道てくてく

日 2月19日(金)8:30~16:00、晴れ

場 秦野峠林道~やどりぎ水源林~

三廻部林道~寄ロウバイ園

参 30名(男6人、女24人)

財団他 森林協会、野口専務理事、

浅野目様、水野様、中野様、伊藤様

県 森林再生課 鈴木様、金子様、廣川様、吹上様

県、県西総合センター(緊急車両)、茂木様、杉本様

イ L内野⑨、小沢⑨、杉崎⑩、小川⑬、

林道てくてくの参加者は快晴に恵まれ、皆さん明るい雰囲気気で2台のバスに分乗し松田を出発、寄のバス停で野口様の司会によりオリエンテーリング、本日の参加者を4班に分け(1, 2班、10名、3, 4班、5名)まずはやどりぎ水源林へ向けてスタートをした。

この観察会の大きな目的は、山の林道や治山に関して広く県民に周知し保安林(水源林)としてのやどりぎを知って頂く事を主目的とし、さらに自然観察として膨らみかけてきた冬芽などを見ながら約8kmを楽しく歩きました。途中カモシカが歓迎にあらわれ参加者一同大喜びで写真を撮っていました。



(ロウバイ(蛸梅)) (撮影:小川⑬)

昼食後三廻部林道を歩き、松田と秦野の境で山に入り展望台で丹沢表尾根の絶景を堪能し、落ち葉で敷き詰められた山道をロウバイ園へ向けて鹿柵の話や足柄茶畑がある集落を通り、満開でほのかにかおるロウバイ園で本日の観察会を無事終了。

今回の観察会を心待ちされる方も多く最後まで皆さん笑顔でした。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 県立21世紀の森野鳥観察会②「冬の野鳥観察」

日 2月27日(土)9:00~14:00、晴れ

*1月30日が雨天により延期

場 南足柄市 県立21世紀の森

参 大人3名(男性2名 女性1名)

*1月30日は19名を予定

県 環境農政局水・緑部森林再生課

林業振興グループ 副主幹 柳町様

スタッフ 21世紀の森 分島様、

21世紀の森サポーター 山本様

イ L石原和美⑧

観察会当日は、穏やかな晴天で絶好の探鳥日和となった。悪天候のため一ヶ月ほど延期しての開催で、参加者は少なかったがその分、静かにゆっくりと観察することができた。

森林館でオリエンテーションの後、野鳥リストとビンゴカードを持って出発。21世紀の森で毎週野鳥観察をしている“森のサポーター”山本氏にご協力を頂いて、ウソやルリビタキなど美しい冬鳥を含むたくさんの野鳥に出会うことができた。

下見で訪れた際に感じた「21世紀の森の豊かさ・楽しさ」を参加者のみなさんに伝えようと鳥だけではなく花や木の実、カエルやシカなどの登場するビンゴカードを作成し、パーフェクト賞は今回特別に21世紀の森オリジナルグッズを用意してもらった。

(記 石原 和美 ⑧)

◆ 川崎市立日吉小学校

※環境を守る(やどりき水源林での活動)

日 3月1日(火)9:00~13:30、晴れ

場 やどりき水源林

(Bコース・林道+成長の森H19・成長の森H22~24)

参 158名(小学5年生151名、教師7名)

財 瀬戸専務、古舘様(オブザーバーとして参加)

イ L井出①、渡辺孝③、白畑⑦、小野⑦、渡部公⑦、三浦⑧、村井⑨、西出⑫、江頭⑬、古舘⑬、大原⑬、蘭田⑬、小川⑬、

朝から絶好の活動日和に恵まれた。

担当インストラクターは現地にて、リーダーのもと詳細な打ち合わせをし、生徒さんたちの到着を待った。

やどりき周辺の当日の朝の気温は零℃近かったと思うが、水源林ゲート前でバスを降りた生徒さんたちの元気な声とともに姿が現れた。開始式のあと、ストレッチを行い各班(1班~13班)に分かれて担当インストラクターとともに広場を出発した。

私たち1~4班はBコース。このコースは人工林・天然林・ミツマタ群生地等の植生が多彩である。比較的緩やかなコースではあるが、木の橋がところどころにあり気が抜けない。

森林がどれほど私たちの生活に役にたっているか、またその森林を守るためにどれほどの保全が大切か(保安林・間伐・シカ柵)等の話の時は皆一様に真剣に耳を傾け、どのようなことをしているのか、どんな動物がいののですか?などの質問も出て興味の深さを感じた。ある生徒さんからは、なぜインストラクターになったのですか?と質問もあり、自然を楽しみ、守り、育てたい思いを伝えた。

やどりきで一番の巨木のところでは、3人がかりで抱え、すご〜い!と歓声があがっていた。

インストラクターより危険な行動はしないよう十分に注意があり、昼食後は河原に出て思い思いに楽しんで怪もなく無事に活動を終えることができた。

(記 小川 和恵 ⑬)

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、**看** 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) **研** 研修枠
(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

やどりき水源林 ミニガイド

3月のトピックス

今年の活動を開始です。
やどりき水源林活動説明会
(飯澤部会長より)



(3/13 集会前広場にて)

4月の水源林

最高の季節が始まりました。草花、樹木、動物、鳥が！！
カモシカやモモンガも見られるかも！！

「森の案内人」情報

案内人が始まっています！

- 実施時間：毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集 合：水源林入口ゲート前
- 内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ：(公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL：045-412-2255
FAX：045-412-2300
- ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail： midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



『やどりきの森へ行こう！』

新松田駅北口8:30集合。イベント当日は、
水源林ゲート前までバスを利用！
(バス代各自負担：片道620円) ☆＝所要時間目安

5月21日(土)

【夏も近い！ウツギ&動物探し】

水源林では、4月から11種類のウツギが次々と花を咲かせます。この日は何種類のウツギの花に逢えるでしょうか。運がよければカモシカに逢えるかも！

☆＝3時間 申込締切...5月5日(木) 定員50名(抽選)

【内容についての問い合わせ先】

かながわトラストみどり財団 (左ページ参照)

【「やどりきの森へいこう」の申込先】

NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号

サンシャインビル604

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員のお名前、

住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、

又はE-mailにてお申し込みください。

締切後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★だんだん春が近づき、レンギョウ、ヒヤシンス、サクラと近所の花々が華やかに咲きだしました。そろそろお花見シーズンですね。まだ少し肌寒いけど、いそいそと花見の宴会準備し始めて、今年も花より団子の春を迎えそうです(笑)

(大塚)

★新しくおうちに来た黒猫と先住猫との間でご機嫌いい中。早く仲良くしてくださいね、お願いします。

(赤崎)

★桜前線が北上中のこの頃ですが、気温の急変化で足踏み状態ですね。先日、近くの浅川でカンボウの若芽を見つけ、酢味噌和えて美味しくいただきました。春の恵みですね。

(小川)

★我が家の周辺でも桜(ソメイヨシノ)がちらほら咲き始めました。自分の中の季節感と一週間位ずれていて、何となく気持ち悪いですね。

(蘭田)

★この時期 山では春の息吹で一杯！花粉症が悪化しないか、恐る恐る山にでかかっています。

(水口)

★シジュウカラは様々な鳴き声があるのは知っていましたが、最近その組み合わせには「文法」もあることが、総合研究大学院大学の研究で分かりました。ヒト以外の動物で、文章で情報を伝える能力が明らかになったのは、これが初めてです。シジュウカラの鳴きまねを練習して会話をしたいですね

(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 水口俊則 赤崎さほり
小川和恵 蘭田栄哉
大塚晴子 小池 哉
支援 伊藤恭造 大原正志
江頭淑子

松田町寄地区のしだれ桜には、立派なしだれ桜が多く、大きく成長してきていて、とても見ごたえのある桜、場所になってきております。

松田町観光ホームページ

<http://www1a.biglobe.ne.jp/matsuda-kanko/2011y-sakurakaika.htm>

松田地区 ・最明時史跡公園

寄地区

- ・土佐原(岡部邸) しだれ桜
- ・萱沼しだれ桜
- ・中山しだれ桜
- ・中津川(大寺橋もと) 宇津茂しだれ桜
- ・虫沢しだれ桜
- ・中津川沿い しだれ桜
- ・管理センター駐車場

・ドックラン・養魚組合前

